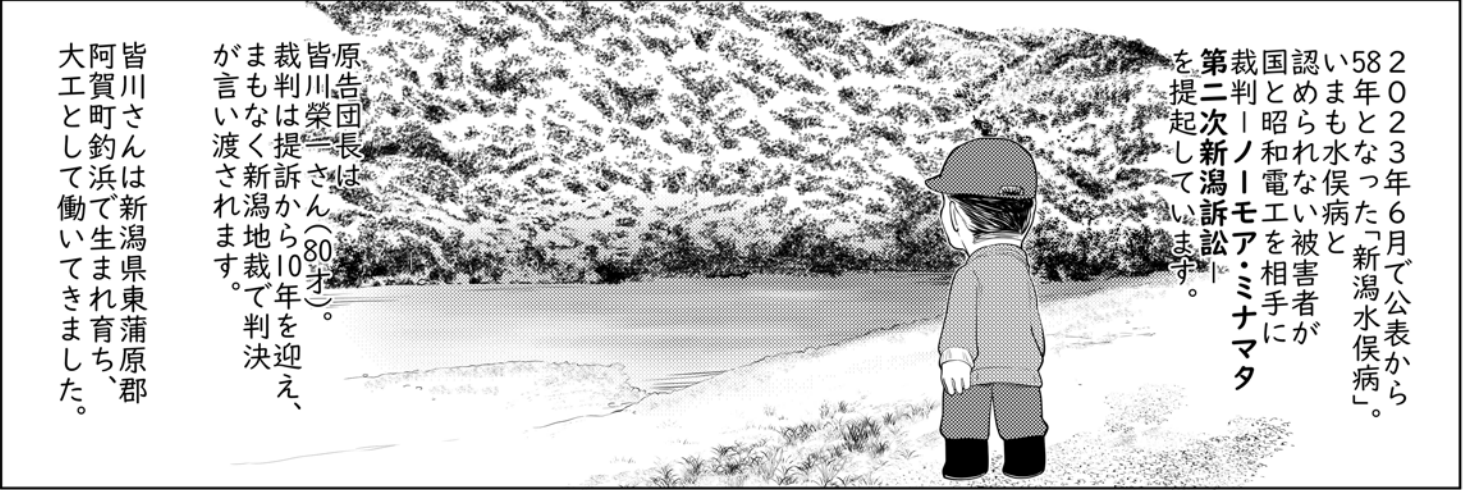


2023年6月で公表から58年となった「新潟水俣病」。いまも水俣病と認められない被害者が国と昭和電工を相手に裁判「ノーモア・ミナマタ 第二次新潟訴訟」を提起しています。

原告団長は皆川榮三さん(80才)。裁判は提訴から10年を迎え、まもなく新潟地裁で判決が言い渡されます。

皆川さんは新潟県東蒲原郡阿賀町釣浜で生まれ育ち、大工として働いてきました。



「70才のとき
「おれの人生これでいいんだろうか」と振り返り、ずつと気になっていた水俣病にケジメをつけようと決心。」

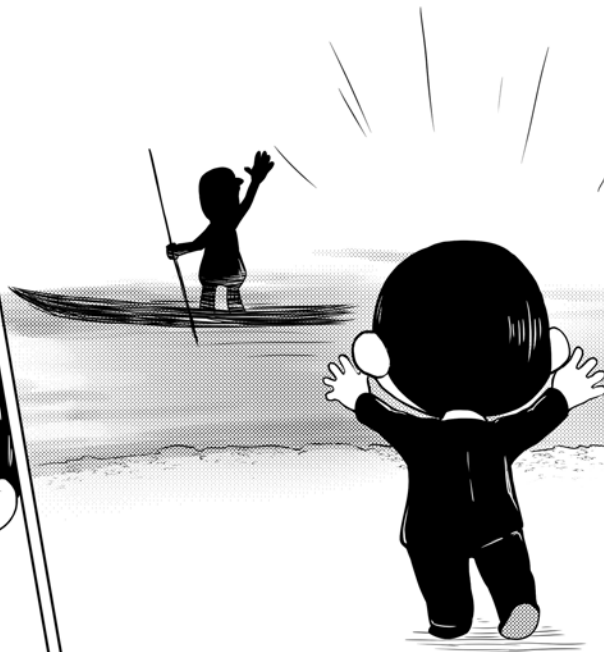
皆川榮一物語

70才の決意



皆川さんの幼少期

皆川さん宅は阿賀野川のすぐそば。大雨が降ると床上浸水に見舞われました。

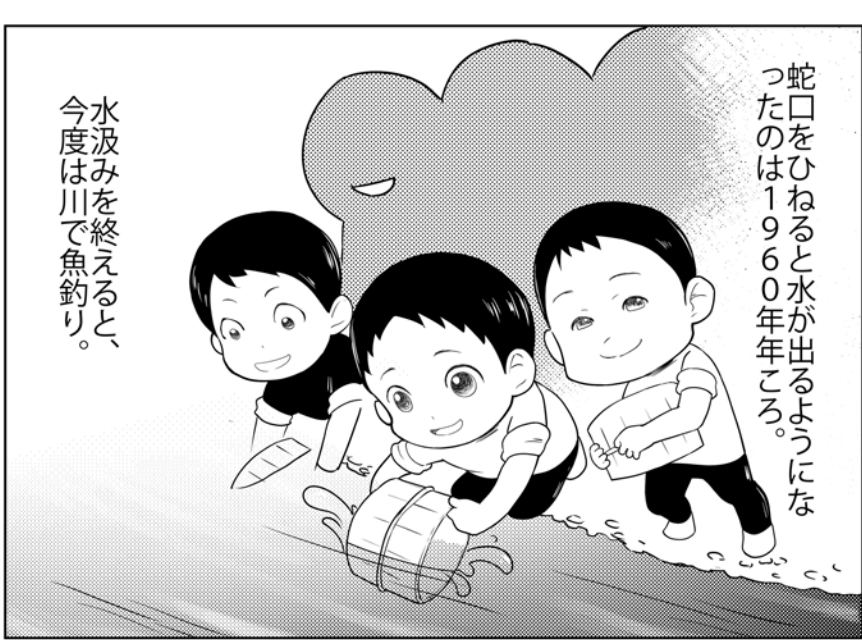


父親は人や荷物を対岸におくる渡し船の船頭。皆川さんは幼少のころから父親と一緒に魚を取っていました。

小さいころ釣浜はまだ水道が通っておらず、学校から帰ると川にでかけ、パケツに汲んで台所の甕に移すのが日課で、一目に10回運んだこともありました。

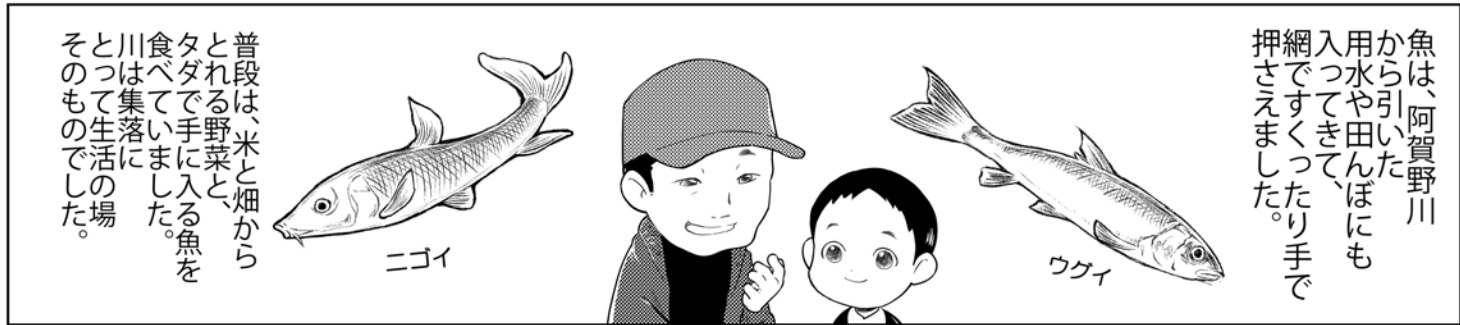


地域に肉や海の魚を売る
お店はありません。
川魚は流域の人々に
とって生きるための重要な
食料であり、たんばく源でした。



蛇口をひねると水が出るようになったのは1960年ごろ。

水汲みを終えると、
今度は川で魚釣り。



魚は、阿賀野川
から引いた
用水や田んぼにも
入ってきて、
網ですくったり手
で
押さえました。

普段は、米と畑から
とれる野菜と、
夕夕で手に入る魚を
食べていました。
川は集落に
とって生活の場
そのものでした。

ニゴイ

ウグイ



当時、東蒲原郡で阿賀野川を
横断する生活道路は津川の
麒麟橋1カ所だけで、
対岸への往来は
船でした。

対岸を往来する
渡船場は郡内には
8カ所あり、通勤、
通学、物資の運搬に
使っていました。

いまは釣浜をはじめ
渡船場の数だけ橋が
架かっています。

昭和38年頃の皆川さん。

うーん



体の異変

手足のしびれ

かたす曲がり
(こむら返り)

耳鳴りー

頭の中の騒音

皆川さんは「大工見習い」として、新潟市内の会社にオートバイで通っていました。

手のしびれはハンドルの握っているバイクの振動のせいと、思っていました。



しかし、足のしびれや耳鳴りはいつまでたっても治りませんでした。そんなとき。

新潟県下に水俣病



自分も？

もしかして

でも、申し出るのは重症の人が高齢で、家族の手を借りないと動けない人……

寝たきりの人……

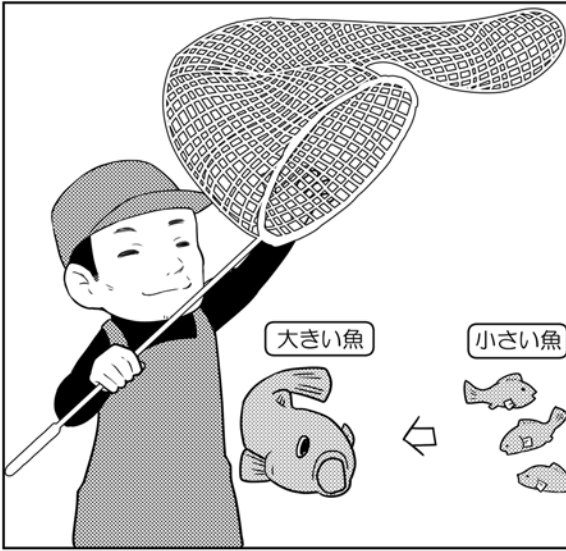
水俣病はそういう人だと思っていた……

言語障害でしゃべれない人……



水俣病とは？

水俣病は、川や海に流されたメチル水銀に汚染された魚介類を多食することによって起きた中毒性の神経疾患です。メチル水銀は食物連鎖によって生物濃縮し、人体に取り込まれて発病に至ります。

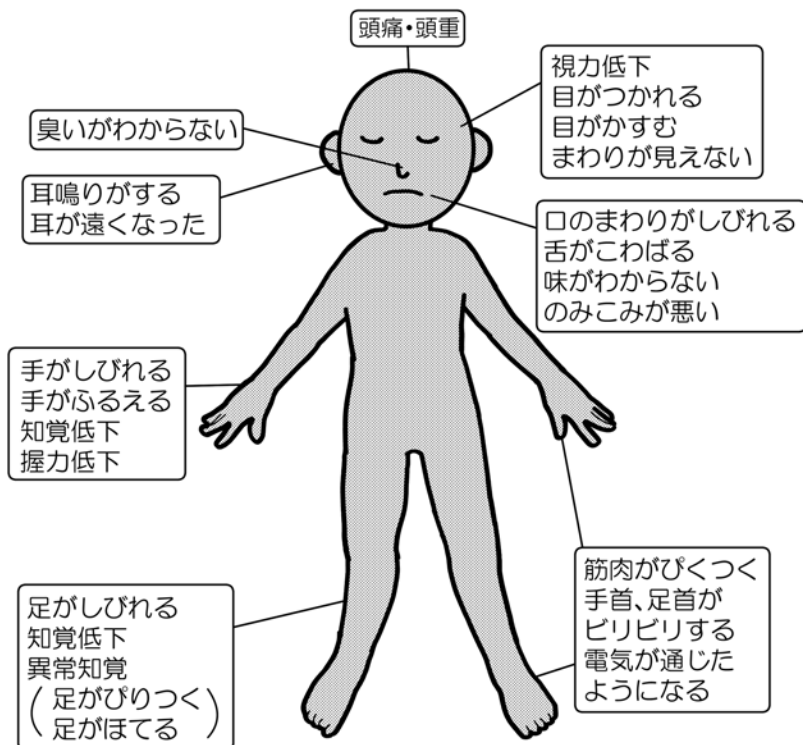


川魚は阿賀野川本流だけでなく、支流の常浪川や新谷川、早出川などの自由泳いでいます。支流の人々に泳いでいても、支流入る川は、何物にも代えがたい食料源であり、貴重なたばく源でした。



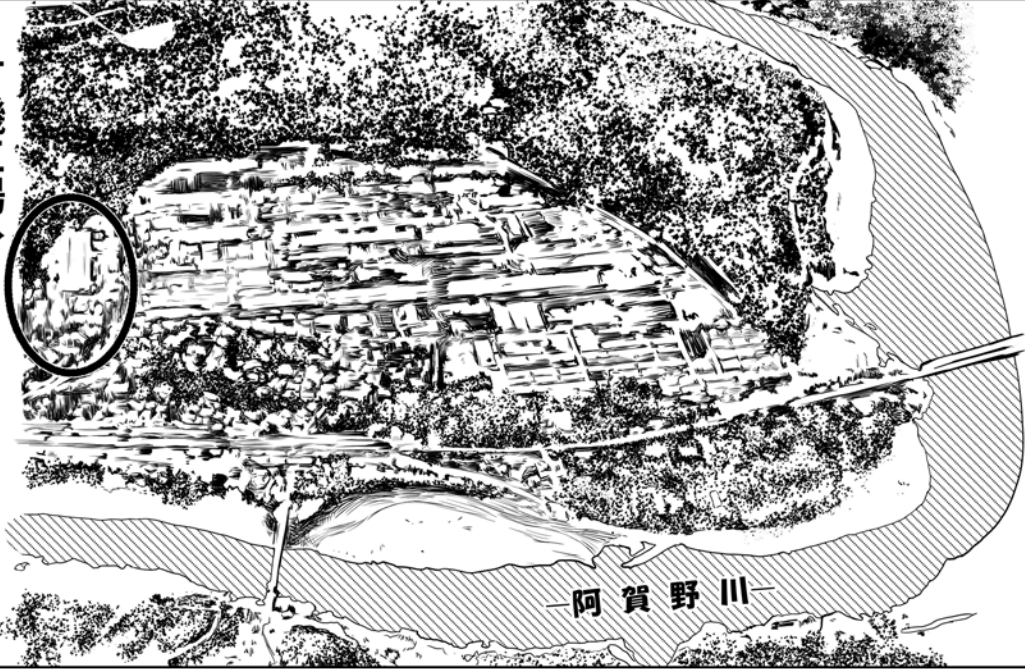
水俣病の症状

自覚症状



水俣病が発生した当初の患者は、全身に重篤な障害が起こり、麻痺、意識障害、けいれん、寝たきりの人たちがいました。現在の患者は外見からはわかりませんが、手足のしびれをはじめとする様々な症状に一日中苦しんでいます。皆川さんもそうした一人です。

第二水俣病を発生させた 旧昭和電工鹿瀬工場

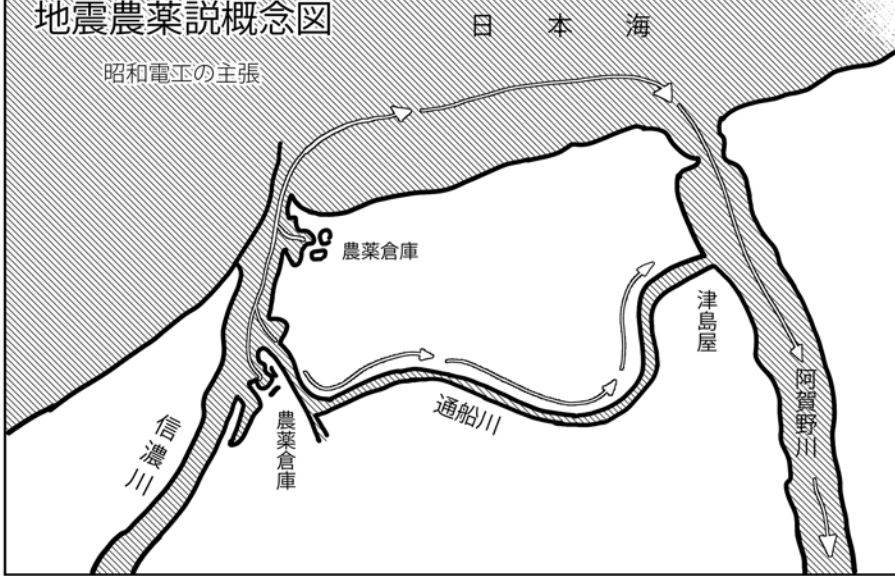


有機工場→

ここから水銀がたれ流されました。
昭和11年から40年までに
消失した水銀は55トン。
8割が大気に1割が川に
放出されました。

地震農薬説概念図

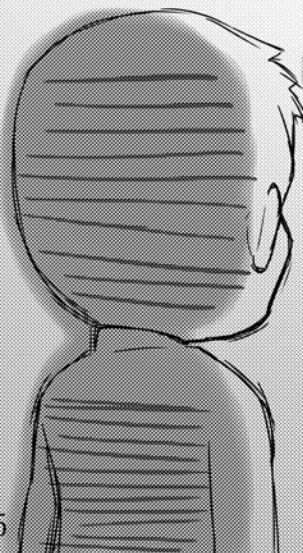
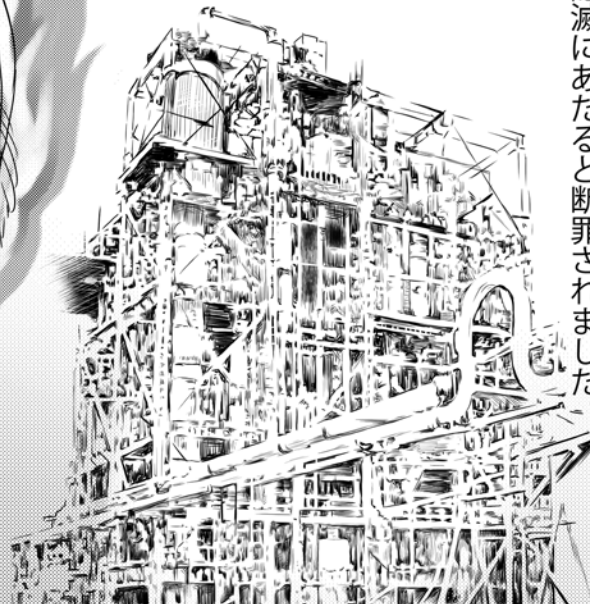
昭和電工の主張

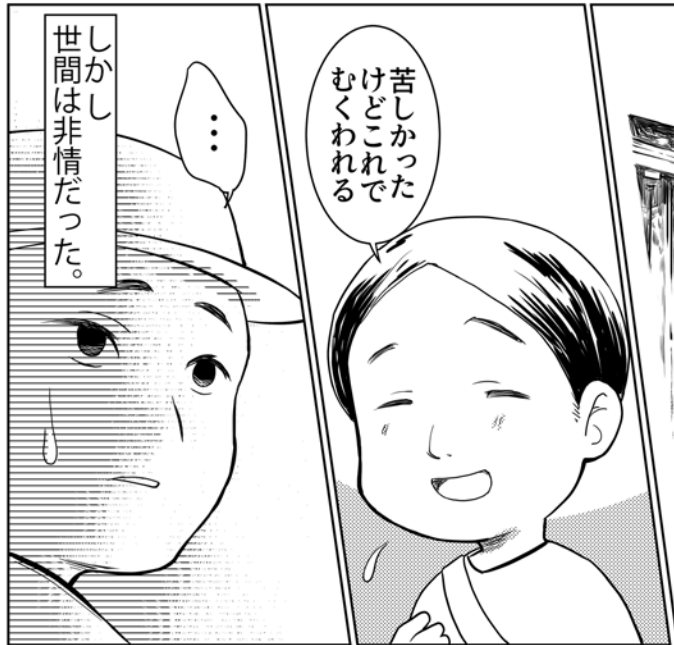


第二水俣病の発生源として、阿賀野川流域の人々は昭和電工鹿瀬工場だと疑いました。それまでも度々「赤い水」「白い水」を流していたからです。
昭和電工は責任逃れのため、「地震農薬説」を唱えました。農薬説とは新潟地震の際に、信濃川河口付近の農業倉庫から流出した農薬が阿賀野川の河口まで達し、川を逆流し下流域を汚染したというものでした。
第一次裁判で一蹴されました。

昭和電工はアセトアルデヒド製造を停止すると同時にプラントを撤去し、アセトアルデヒドの製造工程図も焼却しました。裁判で、証拠隠滅にあたりと断罪されました。

アセトアルデヒド
製造プラント





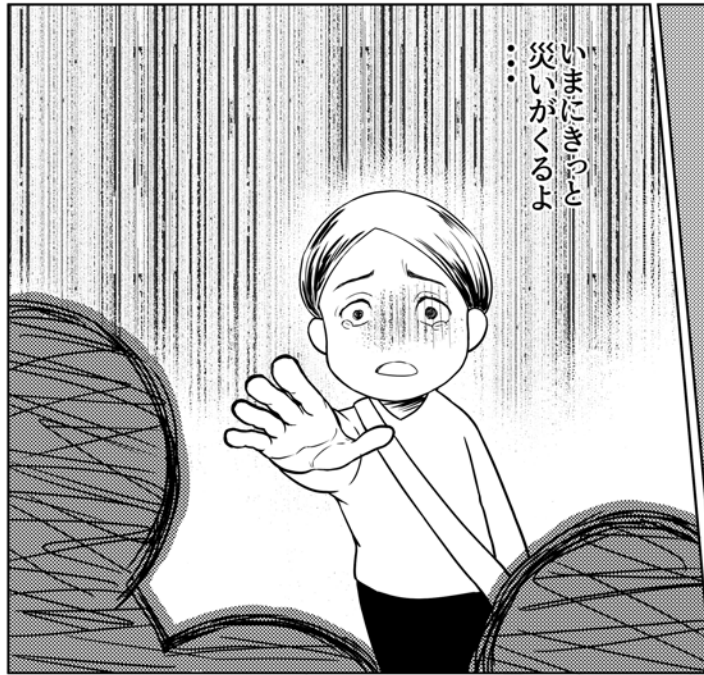
しかし世間は非情だった。

苦しかったけどこれでむくわれる



私は実は水俣病に認定されたんです

皆川さんが自分の集落で水俣病患者がいると知ったのは昭和50年代に入ってからでした。皆川さんの大工仕事の発注者が水俣病患者だったのです。

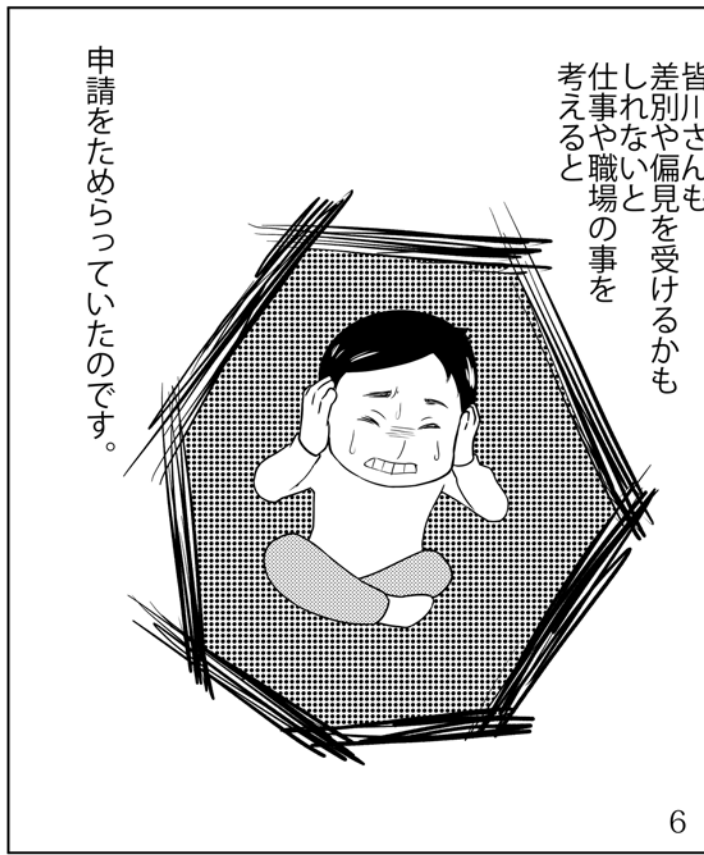


いまにきつと災いがくるよ



ひどい話だ。そこまでして金がほしいかね?

あの人は魚を食べていたかね。金欲しさに水俣病申請したのではないかね?



申請をためらっていたのです。

皆川さんも差別や偏見を受けるかもしれないと仕事や職場の事を考えると



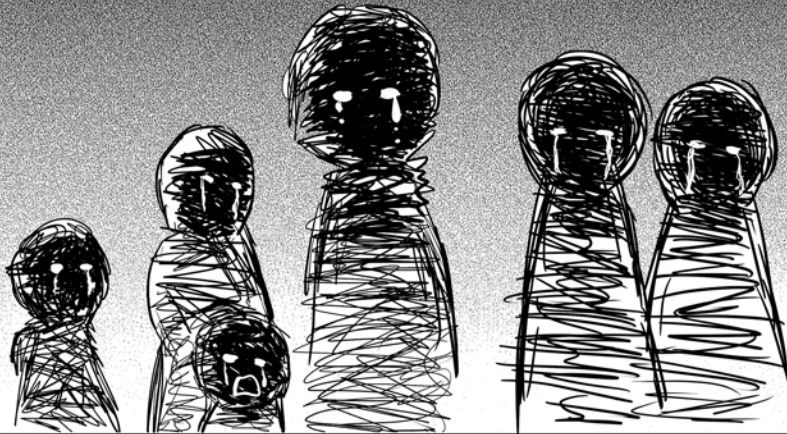
水俣病への偏見が酷かった。

悪口を言っていた人の中には、後に水俣病の症状が出た人もいた。

なぜ新潟に水俣病が くりかえされたのか

新潟水俣病の被害者が裁判に立ち上がるまでは、公害の被害者は「見舞金契約」で泣き寝入りというパターンが繰り返されました。

熊本の水俣病被害者は知事らのあっせんを受けて昭和34年12月30日に「見舞金契約」を結ばされ、これで水俣病問題は終わつたとされました。



見舞金契約は熊本第二次訴訟判決で、公序良俗に反する」として無効にされました。

昭和34〜5年、国会でも水俣病の原因究明とチツソと同種工場の安全性が議論されました。国・通産省は工場の排水調査をした結果、チツソと同程度かそれ以上の水銀が流出していることが判明しました。しかし、国はこれを隠蔽。

工場名	排水調査	水銀(PPm)	
		1/2月(1/2月)	2/2月(2/2月)
上	1	0.046	0.048
会	1	0.187	0.068
上	1	0.177	0.060
上	1	0.003	0.003
上	2	0.071	0.077
上	2	0.093	0.031
上	2	0.317	0.074
上	2	検水せず	0.008
上	2	0.107	0.084
上	2	0.004	0.009
上	2	0.004	0.004

今回の裁判で、国はようやく排水の調査結果を証拠として提出してきましたが、工場名は墨塗りでした。このなかに鹿瀬工場が含まれているかどうか明らかにしていません。

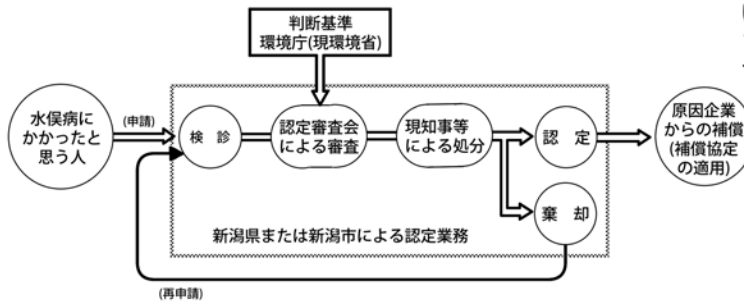
2004年関西訴訟最高裁判決 「国の被害拡大の責任を認める」

2004年の関西訴訟最高裁判決は、熊本水俣病について「1959年12月末には通産大臣は水質二法を適用してチツソの工場排水を規制すべきであったのに、権限を行使しなかったため被害が拡大した」として国の責任を認めました。

以上のことを考えると、新潟水俣病発生における国の責任は明らか、と言えます。しかし、裁判ではまだ認められていません。今の裁判の最も大きな争点です。



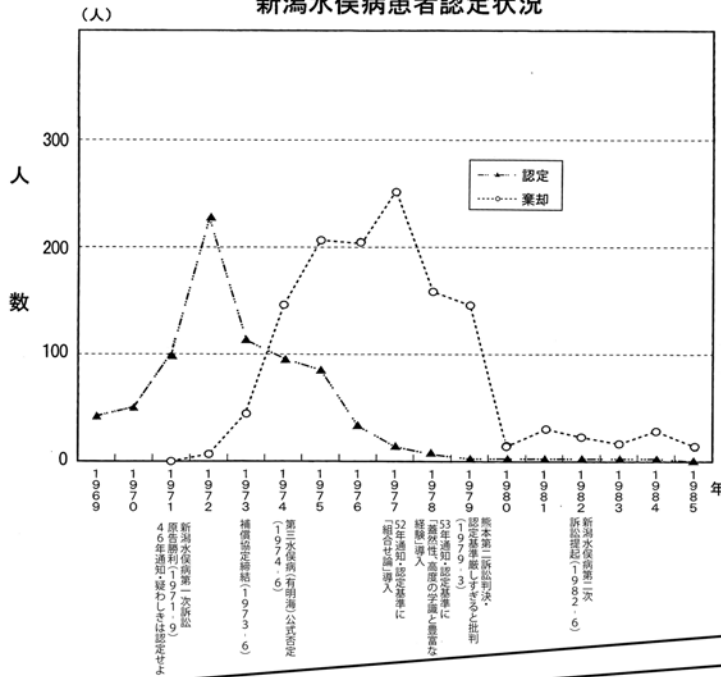
水俣病の認定は公害健康被害補償法に基づいて行われます。被害者本人が新潟県・市に申請し、県・市が委託する新潟大学病院で検診を受け、その検診結果を医師らで構成する認定審査会が、国が定める認定基準に照らして審査・答申し、知事・市長が認定か棄却の処分を行います。認定されれば「補償協定」に基づき昭和電工から補償費等が支払われる仕組みとなっています。



新潟水俣病発生からしばらくの間(1973年秋ころまで)患者を診ていた斎藤恒医師が水俣病と診断すればほとんど全員が水俣病と認定されていました。

ところが、1973年の補償協定と前後して起きた「第三・第四・第五水俣病発生報道」による水銀パニックや同年秋のオイルショックによる経済不況、さらに補償費負担増によるチツソの経営危機などを背景に、国・環境省と企業は字者を巻き込んで判断基準を厳しくしました。

新潟水俣病患者認定状況



昭和46年通知の「いずれかの症状があれば水俣病」から昭和52年通知の「症状の組合せが必要」に改悪したのです。結果、認定件数は激減。昭和53年度から令和4年度までの認定42件に対し、棄却は652件で認定率は6%に過ぎません。

判決を真摯に受けとめず
52年判断条件にしがみつくと環境省

最高裁



国・環境省

認定をめぐる主な判決

1985年8月

熊本第二次訴訟福岡高裁判決
昭和52年通知は厳しすぎて被害者を救済しえない。

2004年10月

関西訴訟最高裁判決
一定の条件下で感覚障害があれば水俣病。

2013年4月

認定義務付訴訟最高裁判決
感覚障害があれば総合的に検討して認定。

2017年11月

新潟水俣病認定義務付訴訟東京高裁判決
水銀曝露が疫学的に認められ他疾患の疑いがないければ水俣病。

公健法以外の被害者救済制度

水俣病は、被害者救済の対象を狭めようとする国側を、司法が正しては新たな制度が継ぎ足されるといって歴史を繰り返してききました。

○第一次政治解決

水俣病総合対策医療事業
(対象者に一時金、医療費、医療手当を支給)

1985年8月 熊本第二次訴訟福岡高裁判決
(原告4人認定、1人棄却)

1987年3月 熊本第三次1陣判決
(国・県の責任認め、原告全員水俣病)

1992年3月 新潟第二次1陣判決
(91人中88人を水俣病と認定、国の責任認めず)

1992年6月 総合対策医療事業施行
(四肢末梢優位の感覚障害を有する者に医療保障。95年3月末受付)

1995年12月 新潟第二次訴訟原告、昭和電工と解決協定締結。

1996年1月～6月 総合対策医療事業再開
(新潟800人、熊本・鹿児島で約1万1千人が対象に)



水俣病犠牲者慰霊式に出席し謝罪する鳩山首相(当時)

○第二次政治解決

水俣病特措法
(対象者に一時金、医療費、医療手当を支給)

2004年10月 関西訴訟最高裁判決
(国・熊本県に被害拡大の責任あり。感覚障害があれば水俣病と認定)

2005年10月 ノーモア・ミナマタ熊本訴訟提訴を皮切りに新潟・東京・近畿と続く。
熊本の原告団は06年4月1千人超)

2009年6月 ノーモア・ミナマタ新潟訴訟提訴

2009年7月 水俣病特措法成立。
2010年5月～12年7月 特措法救済申請受付
(新潟2千人、熊本・鹿児島で約5万2千人が対象に)

○新たな救済制度?

2013年4月 熊本認定義務付訴訟最高裁判決
(感覚障害のみの棄却患者を水俣病と認定)

2023年9月 ノーモア・ミナマタ第2次近畿訴訟大阪地裁判決
(特措法の「地域2年代」の線引きは不合理。魚介類を継続的に多食し、四肢末梢性、全身性の感覚障害があれば水俣病と認定)

水俣病と認定



現在の皆川さん



川を嫌いになったことはなく、ずっと川で暮らしてきたんだから

漁が出来る間は毎日のように川に出かけ...



冬は自宅近くの五十島など三つの駅でホームの除雪作業を10年以上おこなっています。



子供が独立し、自分の仕事の一線を退いた後の平成25年に診断を受けました。

新潟水俣病の被害

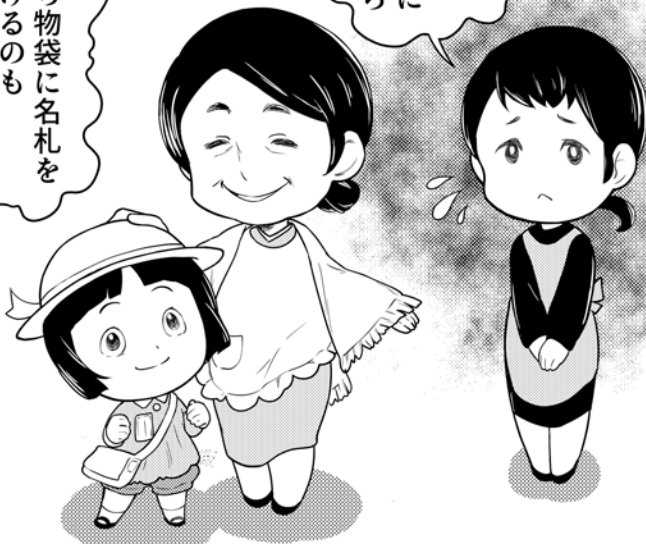


怪我や火傷をしても
痛みが感じられない
ためすぐに気づかない！
お風呂の温度も
感じられない手足に
なってしまった



手が震えて
裁縫がうまく
出来ない

子どもが
保育園に
行くように
なってから



服や持ち物袋に名札を
縫い付けるのも
母が代わりに
してくれました



手がしびれて
台所で家事が
できないのが
本当につらいです

味がわからないから
料理の味付けが
うまくできない



うわあ
濃いよ

手が震えて
お茶が入れられない

服を着る時
ボタンがうまく
かけられないから



ボタンの
ない服を
着るようになった

とても
つまづきやすく
なってしまった

**皆川さんの
家族のこと**

皆川さんは第一線で闘うことを決心。名前と顔を明らかにして裁判に臨んだ。

それにより一部親族は皆川さんから離れてしまし、現在も孫の顔も見れないでいる。



ガチャ

おとうさん 私たちの生活も考えてください!

家族の内情なんて本当は言いたくない

でもそれも話すのが裁判

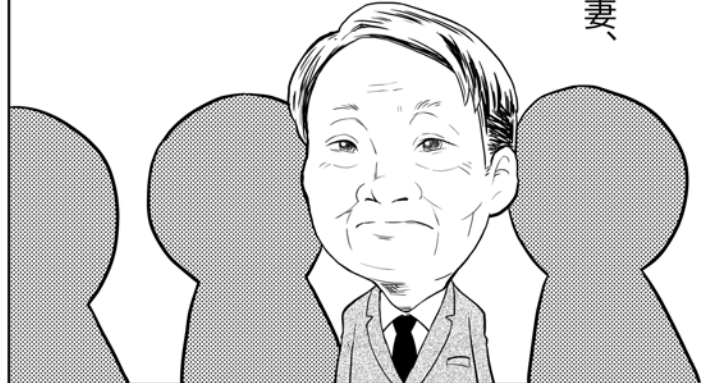


父親はプロの船頭だったが体の異変に気づきながらも55歳で落ち、4日後に死亡。

新潟水俣病公表
2ヶ月前のことです。

母親はいろいろ医者にかかったが水俣病の診察を受けないまま平成20年93歳でなくなりました。

皆川さんと妻、姉、長女が原告です。



**裁判について
皆川さんが思うこと**

原告は高齢化し平均年齢は74歳です。

国は被害者のことを本当に考えているのか 皆が亡くなるのを待っているのではないか

昭和電工はいつまでも公害企業の汚名を着てないで自ら解決に踏み出すべきだ!

**新潟水俣病
阿賀野患者会**



原告151名の内29名がなくなりました



大阪地裁は原告
128人全員を水俣病と
認め、国やチツソに
賠償を命じた

新潟でも全面勝訴の
判決をとりたい!

残された時間は
刻々一刻となくなっ
ているのです。

グ
ッ

一日でも早く
解決して
亡くなった原告の
皆さん

また
悔し涙を
流しながら

入院施設に入っ
ておられる皆さんに

裁判に勝ったよ

って報告して
やりたい

それから離れた
親族にも:

本当に苦労かけて
申し訳なかったと
連絡したい

認定申請の結果は
また棄却でした。

でも納得できない
裁判で決着を
つけるしかない

全被害者救済と
同じような公害・被害
を繰り返さない
ためにも
最後まで闘う。

水俣病であることを
隠さなくてもよい
社会を作りたい

母なる阿賀野川と
ともに

これからも
生きていくー

発行：新潟水俣病阿賀野患者会・新潟水俣病共闘会議
〒950-0965
新潟市中央区新光町6-2 勤労福祉会館3F
TEL 025-281-2466 FAX 025-281-8101
E-mail niiheiwa@rapid.ocn.ne.jp
漫画：山好落子 2023.10.15作成